

地域交流・連携推進事業（学内助成事業）

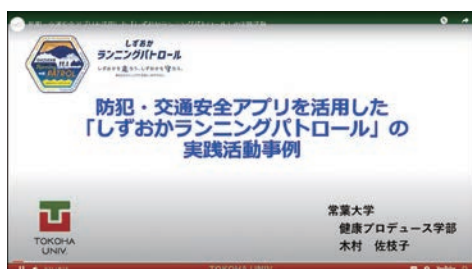
本事業は、本学の教職員が個人およびグループで地域住民や関係機関等と連携を図って地域との交流・連携事業の取組に対して支援（所要経費の一部を交付）を行うものです。「知の拠点」として地方自治体及び民間団体等と共同又は連携して、地域や産業の活性化等を図ること、研究成果等を地域に還元又は情報発信することなどを目的とした事業を行っています。

◆令和4年度採択事業一覧

No.	研究テーマ名	代表者
1	スポーツによる地域活性化を目指した「ベルテックス静岡」との連携事業	教育学部 生涯学習学科 教授 木宮 敬信
2	多文化共生ファシリテーター育成のための地域自治体との連携プロジェクト 2022	外国語学部 英米語学科 教授 良知恵美子
3	登録有形文化財原田家住宅を活用した焼津市浜当目地区活性化事業への参加	外国語学部 英米語学科 助教 那須野絢子
4	駿河湾沼津 SA の価値創造に関する情報学的研究ドッグラン施設のマナーアップ戦略を中心に（NEXCO 中日本との共同研究）	経営学部 経営学科 准教授 山田 雅敏
5	外国人住民への支援と日本人住民との協働作業を通じた多文化共生社会実現の試み	経営学部 経営学科 教授 坂本 勝信
6	吉田町民のスポーツ実施率向上事業	健康プロデュース学部 心身マネジメント学科 准教授 村本 名史
7	しずおかの気になる木の音 きいてみよう！	短期大学部 音楽科 教授 井上 幸子

また、9月に開催される本事業の報告会では、これまでのポスター発表に替え、令和3年度より動画による教員の地域連携活動を紹介しています。大学ホームページにも掲載しております。是非ご覧ください。

■掲載例紹介（一部）



大学 HP はコチラ

地域交流・連携推進事業



教員による地域連携活動
（動画配信）



公開講座

本学の教育理念の一つである「地域貢献」を目的とし、本学の重要な使命である「諸事業を通じた地域社会の活性化・進展に貢献する」という開かれた大学を象徴する事業の一環として公開講座を実施しています。

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で一変した生活において、「SDGs 持続可能な社会のために ～Well-being の向上～」 「人生 100 年時代の教養を深める」を切り口に 16 講座（43 講義）を開催しました。

No.	講座名	所属	講師	回数
1	たくましく、しなやかに「こころの健康」を守っていこう ～無理なく学ぶ日常からのヒント～	教育学部 心理教育学科	教授 伊東 明子 教授 百瀬容美子 准教授 稲垣 馨 講師 中川 雄真	全 4 回
2	歩き方のクセを見える化することでわかったこと ～健やかに歩き続けるためのヒント～	保健医療学部 理学療法学科	准教授 松村 剛志	全 2 回
3	日々の食事を SDGs の観点から見つめ、健康増進につなげよう！	健康プロデュース学部 健康栄養学科	特任准教授 兒山 左弓 准教授 野末 みほ 講師 佐野 文美	全 3 回
4	持続可能な社会のツボ	健康プロデュース学部 健康鍼灸学科	准教授 関 真亮 准教授 村上 高康	全 2 回
5	人生 100 年時代、ロコモと転倒を防止して、 いつまでも自分の足で歩きましょう！	保健医療学部 理学療法学科	准教授 青山 満喜	全 2 回
6	活動的な生活を維持するために ～姿勢・歩行・腰痛の知識と運動～	健康プロデュース学部 柔道整復学科	講師 大塚 博史 講師 安井正佐也 助教 眞鍋 和親	全 3 回
7	今日から実践できる！ 認知症予防に効果がある運動の方法や睡眠のとり方	健康科学部 看護学部 健康科学部 静岡理学療法学科	教授 白石 葉子 教授 青田 安史	全 2 回
8	健康寿命延命のための運動実践	保育学部 保育学科	准教授 今村 貴幸 助教 富田 エミ	全 3 回
9	ことばと文化：英語のセンスを磨いて、英語文化を深く味わう	外国語学部 英米語学科	特任教授 戸田 勉 教授 山田 昌史 准教授 新妻 明子 助教 那須野絢子	全 4 回
10	遺伝子を学ぼう	保健医療学部 理学療法学科	教授 太田 力	全 2 回
11	人の移動から知る世界	外国語学部 グローバルコミュニケーション学科	教授 増井 実子 教授 戸田 裕司 准教授 崔 慶原 准教授 江口 佳子	全 4 回
12	人口減少・少子高齢化時代における 地方自治体の取組と今後のまちづくり	法学部 法律学科	特任教授 望月 久 准教授 杉村 豪一 講師 植田 達	全 2 回
13	個人でもできる冊子資料のデジタル化： 木宮泰彦関係資料をサンプルとして	外国語学部グローバルコミュニケーション学科 短期大学部日本語日本文学科	准教授 若松 大祐 講師 中野 直樹	全 3 回
14	大人が絵本をひらくとき Vol.9	短期大学部 日本語日本文学科	准教授 宮本 淳子	全 3 回
15	宮沢賢治の「銀河鉄道の夜」を今読むこと	短期大学部 日本語日本文学科	教授 小野田貴夫	全 2 回
16	人生 100 年時代～心豊かに長生き応援シリーズ～ 音楽との生き方のすすめ	短期大学部 音楽科	教授 井上 幸子	全 2 回

とこは未来塾 – TU can Project –

本事業は、学生ならではのユニークな「視点と発想」をもち、「熱意と創意」に満ちた自主的・自発的な取組に対し、大学から教員アドバイザーによる助言や活動資金の援助などの様々な支援を行っています。このプログラムに取り組むことで、大学が立地する静岡県を中心とした地域社会への貢献を果たすとともに、学生の若い力を地域の活性化に結び付け、学生の社会性の醸成に繋がることを期待しています。

◆令和4年度採択事業一覧

各キャンパスより応募のあった全28プロジェクトのうち、審査の結果18プロジェクト（ベーシック11件、ライト7件）が採択されました。令和4年度からは、初めてのグループでも挑戦しやすいよう、ライトプランを新設しました。

(1) プラン

ベーシック：本事業目的に即し、具体的かつ発展性のあるプロジェクトに対応する従来型のプラン

ライト：本事業に挑戦しやすく、事業負担の少ないスタートアッププラン（令和4年度新設）

(2) プロジェクト分野（タイプ）

タイプA：開かれた大学づくり タイプB：地域貢献・活性化 タイプC：現代的課題解決

ベーシックプラン

NO	タイプ	テーマ	グループ名	代表学生所属	
				学部	学科
1	A	This is my color ～色祭～	赤塚ゼミ	保育学部	保育学科
2	B	ゲームで学ぼう in 夏休み	リンク西奈 2022	教育学部	初等教育課程
3	B	伝承あそび交流プロジェクト 続 集まれ！ とこひろば	子どもあそびとところについて 考える交流合同プロジェクト	保育学部	保育学科
4	B	サイエンスカフェ常葉の実践	村井ゼミ	造形学部	造形学科
5	B	TOKOTOKO in 2022	ミスオチ交流会	法学部	法律学科
6	B	大河ドラマ館を拠点とした観光客に対する浜松市の 魅力発信とまちなかの回遊向上に向けた試み	どうする村瀬ゼミ	経営学部	経営学科
7	B	「健幸かるた」を用いた小学校での健幸教育支援	Well bee	健康プロデュース学部	心身マネジメント学科
8	B	からだを動かしたくなる仕掛けとイベントで 子どもと街を元気にする！	ふれぐろラボ	健康プロデュース学部	心身マネジメント学科
9	B	チャレンジ バレーボール	トコハスポーツサイエンスサークル	健康プロデュース学部	心身マネジメント学科
10	C	巴川のプラスチックごみ調査と発生源の推定 (プラごみひろっこ in 巴川)	環境化学研究室（山田健太ゼミ）	社会環境学部	社会環境学科
11	C	ボードゲームを用いたジョブマッチングサポート	鈴木章浩ゼミ	経営学部	経営学科

ライトプラン

NO	タイプ	テーマ	グループ名	代表学生所属	
				学部	学科
1	A	広げよう！健幸づくりの和	TEAM I	健康プロデュース学部	心身マネジメント学科
2	B	PUBLIC SOY（農業による環境保全）	三井ゼミ	社会環境学部	社会環境学科
3	B	高大連携による元気めし応援プロジェクト (双方向の学びに繋がる食育活動)	三浦ゼミ	健康プロデュース学部	健康栄養学科
4	B	果物廃棄の発生を抑制する試み	地域企業とコラボするSDGsの試み	健康プロデュース学部	健康栄養学科
5	B	さなるだいにんぐ De 料理教室プロジェクト	小嶋ゼミ	健康プロデュース学部	健康栄養学科
6	B	小学生防災体験活動『みんなでまなぼうさい』の 実践活動	ThunderBirds	健康プロデュース学部	健康栄養学科
7	C	日本文化を次世代へ繋ぐための第一歩	橘	健康プロデュース学部	健康栄養学科

◆中間発表 ※ベーシックプランのみ

ベーシックプランに採択された団体は、各キャンパスの大学祭に合わせて中間発表を行いました。中間発表では、10月までの取組内容や調査・研究、結果、今後の展望をポスター形式で行いました。



◆事業報告会

3月8日（水曜日）「令和4年度 とこは未来塾－TU can Project－事業報告会」を開催しました。本年度もオンラインを活用し、静岡草薙キャンパス、浜松キャンパスから各団体の発表を行いました。地域の自治体、団体や企業ほか外部参加者及び大学関係者が参加しました。

第1部では、ベーシックプラン11団体の発表（口頭発表）を、静岡草薙、浜松の両キャンパスにてそれぞれ2会場に分かれて実施しました。大河ドラマ「どうする家康」に合わせて商品を開発した団体や、障がいのある子どもが自分らしさを披露できる機会を提供するためのファッションショーを開催した団体など、様々な分野の活動発表が行われました。質疑応答では、教職員のほか、聴講した学生からも活発に質問がされました。また採択団体と連携した事業者からは御礼のお言葉や、今後の活動に向けての激励などが寄せられ、大変有意義な機会となりました。各団体10分間の与えられた持ち時間を有効に使用し、アニメーションや動画を活用するなど、活動内容を画面の向こう側の相手に伝える工夫を凝らした発表が行われました。



第2部では、ライトプラン7団体の発表を行いました。環境保全に取り組む団体や防災体験教室を開催する等、様々な分野の活動が5分程度の動画で紹介されました。

第3部では、学生交流として各キャンパスまたはオンライン上で数人ずつのグループを作り、「学生による地域貢献活動を活性化するために何が必要か」というテーマのもと、学生同士で自由に意見交換を行いました。学生からは「集客」や「活動の継続性」、「情報発信」、「地域の理解や交流の促進」などのキーワードが挙げられ、今後の活動に向けた活発な意見交換の時間となりました。



令和4年度 とこは未来塾 活動報告書は、常葉大学公式ホームページからご覧いただけます。

大学 HP はこちらから↓



地域連携活動の事例紹介

子育て・教育

キッズオープンキャンパスを開催

細江警察署、
浜松市北消防署曳馬野出張所、
自衛隊

浜松キャンパスでは、7月16日、浜松市北区わくわく元気プロジェクトの一環で、地域貢献センターが主催をし「キッズオープンキャンパス」を開催しました。



10回目の開催となった今年度は英語・音楽・造形・化学・医学・栄養・スポーツ・ダンス等こども健康学科の学生を中心に、浜松キャンパス各学科の学びを活かした18講座を開講。地域の子もたちの好奇心を育て、夏休みの自由研究にも役立ててもらおうと、多くの学生が中心となり地域の子もたちに、新たな学びの場を提供しました。「いなさ牛乳を味わおう！」では、牛乳に多く含まれるカルシウムについて学習。地元で作られる「いなさ牛乳」を使って、親子でスコーン作りを楽しみました。「みんなでLet's dancing!!」では、軽快な音楽のビートに合わせて楽しく運動し、学生インストラクターの動きに合わせて、エアロビクスで汗を流しました。



その他、令和5年大河ドラマ「どうする家康」にちなんで「戦国時代の武将に変身しよう!」や、地域の警察署、消防署、自衛隊の協力による消防車、パトカー、自衛隊車両の展示や体験ブースを行いました。消防の体験ブースでは、雨の中、消防服を着た子供たちが、段ボールに描かれた火を、学生とずぶ濡れになって消火していました。

参加した保護者からは「大学の構内に入れるのはこの時しかないので楽しみにしていた」との声があがりました。

コロナ禍で感染予防対策を実施し、参加者を制限しての開催でしたが、588名の親子が参加をし、参加者、学生ともに充実した時間を過ごすことができました。



VELTEX 静岡のホームゲームにてキッズコーナーを企画

VELTEX 静岡



3月26日に静岡市中央体育館で開催されたプロバスケットボールチーム「VELTEX静岡」のホームゲームにて、理科学研究部・健康プロデュース学部木村ゼミ・常葉高校MIRAIB.の学生が2つのキッズコーナーを企画しました。

理科学研究部はスーパー土団子作りと化学物質を使った人工いくら制作のワークショップを実施しました。木村ゼミと常葉高校MIRAIB.は、スポーツSDGsに興味を持ってもらうことを目的としてクイズや輪投げ等をスタンプラリー形式で実施しました。キッズコーナーには約200名の子どもが参加し、それぞれの企画を楽しむ様子が見られました。

短期大学部3科合同企画 「静岡の気になる木の音きいてみよう! ~とことこデーキャンプ~」を開催

静岡県立
朝霧野外活動センター



日本語日本文学科・保育科・音楽科それぞれの専門性を活かして、幼児を対象とした森林環境教育プログラム(デーキャンプ)を実施しました。プラネタリウムでの演奏会では、アルプホルン演奏とおはなしを子どもたちが全身で楽しみ、豊かな時間となりました。雨天でしたが、保育科生の心温かな指導で楽しい一日となりました。

子育て支援の絵本を制作

(株)鈴木楽器製作所



外国語学部 谷口ゼミは、子育て支援を目的とした「とどけるねいろプロジェクト」を企画し、オリジナルの絵本を制作しました。また、絵本に登場するメロディオンを製造する株式会社鈴木楽器製作所に広報活動のご協力をいただきながら、ウェブサイトでの電子データ掲載も行いました。

子育て・教育

図書館で多言語読み聞かせを実施

焼津市立焼津図書館



焼津図書館の100周年記念事業の一環として、外国語学部を中心とした学生・教員と焼津図書館が連携して「多言語読み聞かせ」を企画・実施しました。外国人と日本人の子供、双方が楽しめるように、絵本の選定や朗読方法を検討し、当日は和やかな雰囲気を実施することができました。

「保幼小連携の基礎作り研修会」を開催

三島市



保育学部山本ゼミは、三島市の協力のもと、小学校教諭・保育者・保護者を対象とした「保幼小連携の基礎作り研修会」を開催しました。保幼小連携について理解を深めることを目的に開催されたこの研修会では、参加者それぞれの立場からの率直なご意見を聞くことができ、学生にとっても良い学びの機会となりました。

赤ちゃんフォトコンテストを開催

浜松市、浜北副都心にぎわいづくり協議会



平成26年度から浜北副都心にぎわいづくり協議会と連携し、「赤ちゃんフォトコンテスト」を開催しています。当日は、会場の設営から司会進行まで、あらゆる面でサポートを行いました。授賞式の前には「子供は地域の宝物」をテーマにパネルディスカッションが行われました。市議会議員や医師会の人と語り合うことで、学生は様々な問題に気がつくことができ、貴重な経験となりました。

浜北副都心にぎわいづくり協議会とは、魅力ある浜北副都心の実現を目指して民間主導で設立された組織です。浜北区活性化やにぎわい創出を目指し、行政、民間企業、自治会、商工会など多くの市民が協働で活動しています。中でも、健康プロデュース学部の学生は少子化対策部会と一緒に赤ちゃんフォトコンテストを毎年開催しています。

歌や踊りで楽しく英語にふれる子ども向けイベントを開催

浜松市市民音楽ホール（サーラ音楽ホール）



12月22日、健康プロデュース学部の学生は浜松市のサーラ音楽ホールで「英語で楽しく歌って遊びましょう！」を開催しました。これは常葉大学とサーラ音楽ホールとの連携事業の1つで、地域の子供も英語を音から理解し遊び感覚で学んでもらおうと実施しました。この日は歌やダンスなど、英語でコミュニケーションをとりながら楽しみました。参加した子供も英語を体感する様子が見られました。帰り際には「楽しかった！」と笑顔で会場を後にしていました。

健康プロデュース学部の「児童英語」の授業では、幼児・児童のための英語教育を教えています。中学校からの英語学習とは異なり、「児童英語」は英語の語感、リズム、そしてなによりも英語の楽しさを感じる事が大事です。学生達が子供も英語の楽しさを共に味わう機会となりました。

協働センターまつりで食育活動を実施

佐鳴台協働センター



健康プロデュース学部の学生が、佐鳴台協働センターで行われた「協働センターまつり」で食育活動を行いました。地域の子供も食に興味・関心を持つことを狙いに、野菜クイズや、地場野菜を使用した学生手作りの菓子の配布などを実施。イベントに訪れた小学生や親子連れは、日頃口にしている食材の栄養素や食事バランスなどについて、学びを深めていました。

子育て・教育

浜松市西区 REANDY 協力のもと「みんなの Kids training」を開催

多目的施設 REANDY



健康プロデュース学部吉田ゼミを中心とした団体「ぶれぐるラボ」は、浜松市西区にある多目的施設 REANDY で「みんなの Kids training」を開催しました。このイベントは、「コロナ禍で、色々なことを制限されてきた子どもたちに思いっきり遊んでほしい。人と繋がる楽しさを再確認してほしい」という願いを込めて企画運営を行っています。夏休み4回、ハロウィンイベント1回の計5回開催し約170人の子どもたちが参加しました。

夏休みイベントでは、水鉄砲合戦&水風船合戦、ボールプールを使って非認知能力を高めるゲームを行いました。ハロウィンイベントでは、学生、参加者共に仮装をし、ランタン作りやファッションショー等を行いました。

「ぶれぐるラボ」は、日頃から子どもの体力低下や運動機会の減少を課題とし、遊びを通じて楽しみながら運動能力の向上を目指す機会を作っています。

一輪車の魅力を児童に伝授

浜松市立井伊谷小、
萩丘小、
磐田市立豊浜小ほか



浜松市や磐田市の小学校で学生有志が一輪車パフォーマンスを披露しました。これは、キャリア教育の一環として実施され、一輪車の魅力を伝え児童に興味の幅を広げてもらおうと企画されたものです。

参加した健康プロデュース学部の佐藤寧々さんは世界大会に出場するほどの腕前。音楽に合わせて、ジャンプやスピンなどの技が決まると、児童から歓声と拍手が送られました。

小学生を招いて授業支援

浜松市立都田小



浜松市立都田小学校2年生の児童を迎え、「もっとなまよしまちたんけん」の学習を行いました。キャンパス内、各所の探検を行い、学生が作成したスタンプラリーカードを使って出会った教職員や学生、清掃スタッフや学食の方にインタビューしてシール集めスタンプラリー形式で楽しみました。児童たちは社会や地域の人々に関心を持ち、気づきの機会となりました。

SDGsを学ぶワークショップを開催

加藤学園暁秀初等学校
浜松市立中ノ町小



外国語学部と造形学部の学生・教員は、SDGsの取組を学ぶことができる協力型ボードゲーム「FLOW」を使い、沼津市と浜松市の小学校でワークショップを実施しました。

高校運動部員へ食育講座

浜北西高



部活動を行う中高生が自身の食生活を振り返り、食の課題を改善することを目的に、健康プロデュース学部の三浦ゼミの学生が、地域の運動部所属の高校生を対象とした食育講座「元気めし応援プロジェクト」を実施しました。学生はスポーツ栄養の学びを活かして、スポーツ活動に見合う食量や内容について、作成したデジタル教材を用いて食育を実践しました。

とことこサマーフェスティバルの開催

近隣の方々



7月に短期大学部保育科の学生が「とことこサマーフェスティバル」を企画し、日頃の教材研究での学びを活かして、草薙キャンパスの芝生広場周辺に「あそびの屋台（学生と「ごっこあそび」を楽しめるコーナー）」を出店しました。

当日はたくさんの親子にご来場いただき、子どもたちの歓声がキャンパスに響く賑やかなお祭りとなりました。

自然学習講座で講師を担当

静岡ガス株式会社



静岡ガス静岡支社で開催された自然学習講座において、社会環境学部小杉山ゼミの学生6名が講師を務めました。

静岡ガス内のビオトープ（生物生息空間）を活用し、地元の小学生延べ159名に対して樹木の多様性や生き物との繋がりなどについて解説しました。

講座では、静岡ガスと共同作成した教材を用いて、ゲーム感覚で楽しく自然を学べるよう工夫しました。

一般・スポーツ

地域の方の健康増進のために3つのプログラムを考案

引佐総合体育館



健康プロデュース学部井口ゼミ福田恭子さん、山口えりかさんは、大学近隣にある引佐総合体育館のトレーニングジムで、日頃の学びを活かし、利用者の用途に合わせた3つのトレーニングメニューを考案しました。

この体育館では、どのマシンをどう使えば、どう効果があるのかわからないという声や指導者が常駐していないなど課題がありました。

学生2名は、各マシンの特性を把握したうえで、用途に応じた使用回数、時間、使う筋肉などを記載したシニア向けの「健康づくりコース」、女性向けの「シェイプアップコース」、一般男性向けの「体力づくりコース」のプログラムを作成しました。どのコースも30分程度で実践できる内容になっています。

サーラ音楽ホールでポッチャ体験会を実施

浜松市市民音楽ホール
(サーラ音楽ホール)



障☆スポSCの学生3名と有志2名が12月10日、浜松市のサーラ音楽ホールでポッチャ体験会を行いました。

これは、常葉大学とサーラ音楽ホールとの連携事業の1つで、パラリンピック種目として脚光を浴びたポッチャを地域の方に広めようと、ポッチャ倶楽部COOLの方々の協力を得て開催しました。

この日は小学生約20名が参加し、小学生は2つのコートに分かれて、学生の指導のもと、投球練習や採点手段を経験してもらいました。小学生は熱心に説明を聞き、練習や試合では、投げた球がジャックボールに接近するたびに歓喜が響きわたり、ポッチャを楽しんでいました。

保健医療学部の学生で構成される「障☆スポSC」は今後もポッチャを通じた普及活動、地域貢献活動を実施していきます。

障害者スポーツ大会運営に参加

(公財)静岡県
障害者スポーツ協会



島田市総合スポーツセンター「ローズアリーナ」において、第23回静岡県障害者スポーツ大会ポッチャ競技が開催され、健康科学部の学生9名が大会の運営・支援活動を行いました。

理学療法士を目指す学生たちにとって、障害と向き合い、自分自身の可能性と闘うパラアスリートの姿を間近で見る機会は貴重であり、多くの学びを得る機会となりました。

パラスポーツ体験会に協力

日本ブラインドサッカー協会、
浜松市



元日本代表選手を講師に迎えたブラインドサッカー体験会が、本学はじめ、浜松市内の4大学が加盟する浜松スポーツ教育大学連携協議会の運営協力のもと実施されました。浜松キャンパスの学生もボランティアとして参加し、アイマスクを着けて競技に挑戦する小学生のサポートなどを行い、参加者とともにブラインドサッカーの魅力を経験することができました。

シニアサッカー大会運営に参加

静岡県シニアサッカーフェスティバル実行委員会
静岡県理学療法士会



第11回静岡県シニアサッカーフェスティバルが小笠山総合運動公園エコパで開催され、静岡県理学療法士会及び健康科学部栗田泰成先生の補助として、ボランティアサークル「DELSOLE」の学生15名が参加しました。医療や介護の現場とは異なる環境で、アク

ティブシニアの身体能力や理学療法士としてのスポーツ支援活動について学ぶことができました。

マラソン大会でランナーケア

東洋レチン(株)、
しまだ大井川マラソン



10月30日、健康プロデュース学部の学生19名が「しまだ大井川マラソンinリパティ」にて、参加されるランナーを中心に「刺さない鍼」によるケア活動を行いました。当日は、300名を超えるランナーに体験して頂き、ゴール後には「いつもの痛みが和らいで、ゴールすることができた」といった感想を頂きました。

東洋レチン(株)とは、日頃から製品の開発に協力しています。

防災・防犯

台風19号災害支援活動としていわき市を訪問

楽・農・人ゆうゆうファーム
他



ボランティアサークルThunder Birdsは、令和元年に発生した台風19号で被害に遭われた福島県いわき市の農家を支援する活動を行っております。その一環として、10月下旬2日間に渡って学生3名が1年ぶりにいわき市を訪れ、昨年に引き続き2度目の現地調査を行いました。現地では、フェイジョア農家とオリーブ農家のもとを訪れ、復興の過程や現状をお話いただき、収穫体験をさせていただきました。台風19号の影響で、農家は水害被害に遭いましたが、植物はどれも被害を感じさせないほど元気に育っていました。

健康プロデュース学部の藤井杏夏里さんは、「この3年ほどで現状に近い状態まで復興しており、農家さんの努力が伝わった」と話しました。

「Thunder Birds」は、日頃から防災意識の向上に向けて活動を行っています。

自治会の防災訓練で講師を担当

静岡市消防団清水第13分団
楠自治会(静岡市清水区)



静岡市清水区の有度地区楠自治会の開催による防災訓練にて、静岡市消防団清水第13分団の依頼により、健康科学部の学生6名が救命救急訓練の講師を務めました。

集まった100名以上の参加者へ傷病者発見時のAEDの使用法や上肢負傷時の固定方法を説明し、主催者からは「学生がはつらつと進行してくれたことで、住民も親近感を持って訓練に参加してくれた」と好評をいただきました。

防災とSDGsを学ぶ企画の実施

(一社)草薙カルテッド、
静岡市



本学の学生17名が中心となり、『楽しみながら学べる防災・SDGs』をテーマにマルシェイベントを

開催しました。静岡市『まちは劇場』の助成を受け、地域のお店や団体の協力も得ながら、当日は高校生や親子連れなど113名に啓発を行いました。

下校見守り活動の実施

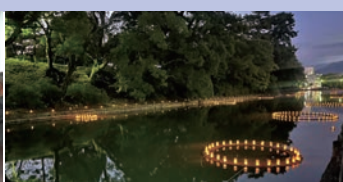
浜松市立都田小学校



近隣にある浜松市立都田小学校で浜松キャンパスの学生が児童の下校見守り活動「まもろーる」を行っています。この地区では、遠方より少人数で通学している児童が多く、学生と一緒に下校することで抑止力となっています。学生たちは大学と連携協定を結んでいる細江警察署から事前にパトロールの心得や注意点などの事前研修を受け、下校見守り活動を行っています。

水辺空間活用の取組を発表

静岡市都市局都市計画部



静岡市役所で開催された「駿府城公園中堀水辺空間活用会議」に、学生サークルのミスオチ交流会の学生3名が参加し、同公園中堀のライトアップ事業「すんぷらんぷ」の取組や地域活性化への想いなどを発表しました。

特殊詐欺被害防止活動の実施

静岡県警察との連携協定に基づく活動の1つとして家庭を訪問し注意喚起を行いました。



防犯サークルが活動成果を発表

静岡市清水市民活動センター主催の講座で、防犯サークルJUSTICEが活動内容などの発表を行いました。



地域活動

「楽しく体を動かして認知症予防！」講座を開催

浜松市民音楽ホール
(サーラ音楽ホール)



10月18日にサーラ音楽ホールで、健康プロデュース学部井口ゼミの学生16名が「楽しく体を動かして認知症予防！」講座を開催し、地域の住民34名が参加しました。本講座は、サーラ音楽ホールとの連携事業の一環として、健幸アンバサダーの資格を取得した学生たちが得た知識と指導スキルを活用し、企画・運営をして開催しました。

講座内容は、井口講師が「健幸華齡ってなに」と題した講演を行なった後、市川未来子さん、栗山香織さんがリーダーとなり、頭を使いながら体を動かす有酸素運動「コグニサイズ」を行いました。また、生涯ユニバーサルスポーツとして知られる「棒サッカー」を4チームに分かれて対戦し、大いに盛り上がりました。

学生たちも、今回の経験から人に教えることで自身の知識や理解を深めることに繋がりました。

「北区Deまつり2023」で特設コーナーを開設

地域包括支援センター三方原、
しあわせリハ



3月5日、新都市市民サービスセンターで開催された「北区Deまつり2023」で作業療法学科の教員らによる体力測定コーナーを開設しました。これは、地域包括支援センター三方原からの依頼を受け、しあわせリハの作業療法士と常葉大学がコラボして開設したものです。当日は、朝から雨天だったにもかかわらず、4年ぶりの開催とあって会場には多くの方にご来場いただきました。子どもからお年寄りまで合計65名に対して、大学の授業でも使用している徒手筋力測定機器を用いて「膝を伸ばす力」を測定しました。測定結果については、各年代の統計が掲載されている評価表をもとにリハビリテーション専門職である作業療法士が丁寧に説明し、下肢筋力の重要性についてアドバイスしました。参加者の皆さんは初めて行う筋力測定に興味津々な様子でした。

登呂博物館水田サポーターに参加

静岡市立登呂博物館

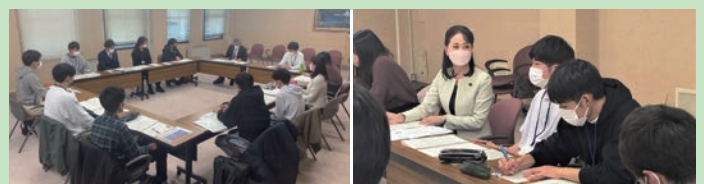


は1年を通して行われ、登呂遺跡にある弥生時代の復元水田にて、田植えや稲刈り等を行いました。

教育学部と造形学部の学生は、授業の中で静岡市立登呂博物館の水田サポーターに参加しました。活動

静岡県議と意見交換を実施

静岡県議会



法学部吉崎ゼミの学生が静岡県議会議員との意見交換を行いました。有権者としての学生の意見を県議会に届けつつ、日頃の学習や研究と社会での実地体験を結びつけるという意味で、学生にとり貴重な機会となりました。

御殿場市の生物多様性保全を調査・研究

御殿場市



社会環境学部の自然体験活動クラブ「バイオエデュ」は、御殿場市における生物多様性保全について調査・研究を行いました。研究の結果、県内でも希少性の高い水生生物が確認できた一方、一部には侵略性の高い外来種の巣窟になって希少生物が衰退した場所もあり、バイオトープの維持管理の課題が見つかりました。

社会環境学部の自然体験活動クラブ「バイオエデュ」は、御殿場市における生物多様性保全について調査・研究を行いました。研究の結果、県内でも希少性の高い水生生物が確認できた一方、一部には侵略性の高い外来種の巣窟になって希少生物が衰退した場所もあり、バイオトープの維持管理の課題が見つかりました。

静岡県神社御朱印展 御朱印帳をデザイン

新静岡セノバ、
静岡県神道青年会



新静岡セノバで開催された、静岡県神道青年会主催の「静岡県神社御朱印展」において、造形学部の学生が他大学の学生とともに、来場者に配布するオリジナル御朱印帳のデザインを担当しました。

地域活動

浜松市内の4大学が連携し、「大学生交流フェスタ」を開催

浜松市内大学地域貢献
ネットワーク

12月4日、浜松市ギャラリーモール・ソラモで「大学生交流フェスタ2022」が開催され、浜松市内の大学生や高校生、市内の協力団体が参加し、ステージパフォーマンスやブース出展をしました。

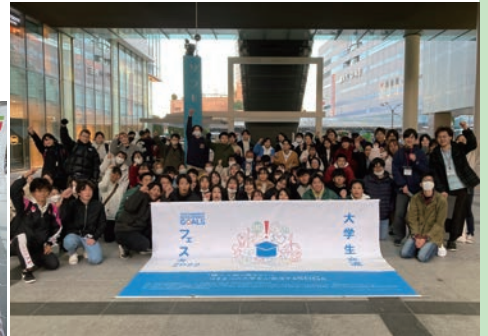
これは、常葉大学、浜松学院大学、静岡文化芸術大学、浜松医科大学の4大学で構成する「浜松市内大学地域貢献ネットワーク」が主催したもので、学生同士の交流を深めるとともに地域社会とつながる機会を創出し、浜松市内で活躍する人材の育成を目的にしています。また、「『誰一人取り残さない』はままつの大学生が発信するSDGs」というサブタイトルがつけられ、各団体はSDGsの目標と活動を紐づけ、SDGsに対する意識の啓発も行いました。

各学科の学び、日頃の活動を活かした6団体が出展

本学からは6団体が参加し、学生有志TUG (Tokoha Unicycle Girls) による一輪車パフォーマンスのほか、ブースでは、経営学部村瀬ゼミの「遠州織物のサコッシュ」、健康栄養学科 TOKOFARMの「野菜クッキー」や農産物「規格外品」を使用した焼き菓子の販売、心身マネジメント学科ぶれくろラボは子どもから大人まで楽しめる運動体験コーナーを設置、また、健康鍼灸学科 美鍼会は来場者の体調にあわせたハーブティを提供し、ペットボトルでつくる温灸やツボを使ったセルフケアを紹介しました。ボランティアサークル Thunder Birdsは震災や防災・減災についての知識や関心を楽しみながら高めてもらうために防災ゲームを実施、また災害時に活用できるようにオリジナル防災ホイッスルづくりも体験してもらいました。

参加した学生からは「多くの方に商品を知ってもらうことができよかった」、「企業の方と交流ができ、よい機会となった」などの声が聞かれました。

総勢179名の大学生たちが、大学・学部、専門領域の垣根を超えて集い交流・連携し、「SDGs未来都市・浜松」の推進のために活動し、大盛況のイベントとなりました。



常葉大学 × 食品メーカー共同、健康・美容弁当の開発

(株)ビック富士、
静岡新聞社・静岡放送

12月13日、エブリィビッグデー浜北店で健康・美容弁当レシピコンテストの発表会が開催され、健康プロデュース学部の学生3名が考案した惣菜とお弁当が披露されました。

これは、食品メーカー3社の指定商品を活用し、スーパー「エブリィビッグデー」で販売していたらうれしい健康と美容を意識したお弁当を考案するレシピコンテストで、学内から応募のあった作品のなかから、ビック富士惣菜部門が選定した3作品が発表されました。

作品が選ばれた健康プロデュース学部の伊藤萌さんは「大学で大量調理の方法を学んでいる。調理のしやすさを意識して考案した」と話し喜びを語りました。今年度中には店舗で販売される予定です。

〔優秀作品〕(右から)

〇もち麦ばてとさらだ / 健康プロデュース学部 芳野琴那

〇もちもち食感 おなかまんぶくサラダ〜タンドリー風チキンを添えて / 健康プロデュース学部 伊藤萌

〇野菜たっぷりヘルシーハンバーグ弁当 / 健康プロデュース学部 植村友奈



常葉大学 × マックスバリュ東海(株)共同 「静岡トコトコ旅気分! アジわい弁当」を販売

マックスバリュ東海(株)

1月28日、29日の2日間静岡県東7県の店舗で常葉大学とマックスバリュ東海株式会社共同開発した「静岡トコトコ旅気分! アジわい弁当」を販売しました。本事業は健康プロデュース学部佐野ゼミの学生が取り組み、地域の食材を活用したお弁当を通じて「静岡県」を知って頂き、食べるだけで静岡を旅しているような気分になれることを目的としました。



地域活動

浜当目活性化プロジェクト「浜 to Me」

登録有形文化財原田家住宅
焼津市歴史民俗資料館
焼津小泉八雲記念館、焼津さかなセンター



令和4年度地域交流・連携推進事業として、外国語学部、造形学部の学生10名たちとともに、焼津市浜当目地区の活性化を目的としたプロジェクト「浜 to Me」を実施しました。内容は、焼津市浜当目地区の手書き散策マップと、同市ゆかりの偉人「日本武尊」「小泉八雲」のキャラクターづくりです。完成したマップは市内各施設に配架、キャラクターは等身大のパネルにし、浜当目にあるカフェ「toiro café」他、「さかなセンター」「焼津歴史民俗資料館」「焼津小泉八雲記念館」に設置します。学生たちは、地元の人たちと交流しながら、自分たちの足で現地を歩いて得た情報を元に、オリジナリティ溢れるマップづくりに取り組みました。また、日本武尊と小泉八雲の人物像を分析し、焼津ならではのモチーフを散りばめたキャラクターデザインを完成させました。

大河ドラマ「どうする家康」を活用した誘客・周遊事業への参加

浜松市
浜松商工会議所



NHK大河ドラマ「どうする家康」を活用した誘客・周遊事業（浜松市主催）として、大河ドラマ館建設敷地（旧元城小学校跡地）にて、「みんなで盛り上げる大河ドラマ館『期待と希望の応援メッセージプロジェクト』」が行われ、経営学部村瀬ゼミの学生8名が運営に参画しました。当日は、約500人の参加者らとチョコレートアートを完成させるなど、全国に向けた情報発信に貢献しました。

地域貢献サークルCocoaが『いいじゃん！おくはまなこ』を開催

奥浜名湖商工会



1月29日、経営学部の有志で構成する『地域貢献サークルCocoa』は、長年の連携先である奥浜名湖商工会と共催で、浜松市ギャラリーモール・ソラモを会場として、奥浜名湖地域周辺の活性化を目的としたイベント、「いいじゃん！おくはまなこ」を開催しました。

イベント当日は、運営だけでなく、事前に募集した写真コンテストの発表や姫街道の魅力調査の発表を担当し、多くの来場者に奥浜名湖の魅力知っていただくためのプログラムを実施しました。

「地域貢献サークルCocoa」代表の宮川晃汰さんは、「新型コロナウイルスの影響を受けた街に活気を戻したいと企画した。メンバー一人ひとりが来場者と接することで奥浜名湖の魅力を伝えることができた」と語りました。

「地域貢献サークルCocoa」は、今後も経営学部で学んだことの実践活動として、地域と連携した活動を行っていきます。

海岸清掃でSDGsを学ぶ

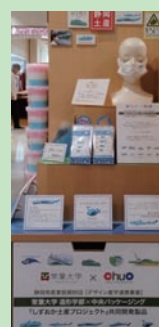
浜松市、
静岡新聞社・静岡放送、
イシグロ



5月29日、浜松キャンパスの学生は、中田島砂丘での海岸清掃とビーチコーミングに協力しました。これは浜松市、静岡新聞、釣り具販売店イシグロが、清掃やワークショップを通じて「海の豊かさを守ろう」と、SDGsを学ぶ取組として行われたもので、当日は約150名の親子連れが参加しました。イベントの中で、学生はワークショップの企画、運営を行いました。

しずおか土産プロジェクトで商品開発

(株)中央パッケージング



(公財)静岡県産業振興財団による中小企業支援を目的としたデザイン産学連携事業において、造形学部を中心とした学生らが(株)中央パッケージングと「マスクに貼る香りシール」を共同開発しました。また、商品は新東名高速道路NEOPASA静岡下り「しずおかマルシェ」で販売されました。

地域活動

放置竹林の整備活動に協力

ふじのくに
竹王国企業組合



浜松キャンパスの学生は、放置竹林の整備や活用に取り組む「ふじのくに竹王国企業組合」の竹林保全活動に参加しています。学生らは同組合スタッフの指導のもと、竹の伐採や運び出し、竹いかだ作りなどを体験しました。地域

の方々との協働で活動し、竹林が抱える課題とその利活用について学ぶことができました。

草原性植生保全活動を実施

富士宮市



社会環境学部の教員4名と学生28名は、富士山麓の草原性植生保全のための草刈り活動を実施しました。また、本活動はふじさんネットワークの情報誌(vol.64, 2022)でも紹介されました。

海岸イベントの運営に参加

大浜ビーチフェスタ
実行委員会



静岡県駿河区の大浜海岸で開催された「おはまビーチフェスタ2022」に、本学の学生5名が運営補助として参加し、海岸で採取した石を磨く体験ブースの運営や終了後の清掃活動を通じて、地域の方々と交流しました。

富士市ワーケーションツアーを実施

富士市産業交流部
産業政策課 等



経営学部小豆川ゼミの学生25名は、「富士市で働く」を楽しむワーケーションツアーを実施しました。主催の富士市産業政策課のほか、同市の住宅政策課、シティプロモーション課等からアドバイスをいただきながら、移転・進出を検討中の企業や個人を対象とした、1泊2日のツアープログラムを企画・運営を実施しました。

「MARK IS 静岡コラボ授業作品展」をプロデュース

MARK IS 静岡



MARK IS 静岡と常葉大学附属橘高等学校総合芸術コース美術専攻のコラボ企画「MARK IS 静岡 コラボ授業作品展」を、経営学部 坪井ゼミがプロデュースしました。MARK IS 静岡とのコラボSNSによってプロモーションを展開し、企画の成功に貢献しました。

多文化共生のまちづくりを調査

菊川市



外国語学部・教職大学院の学生による多文化共生ゼミは、県内で外国人の人口比率が最も高い菊川市で多文化共生意識を育む取組の現状を調査しました。その結果、外国人住民と日本人住民による市民協働型の取組（生活課題や文化を扱う多文化共生講座等）がシビックプライドの醸成に有効で、住みやすく魅力あるまちづくりへの市民の積極的参加を促すことがわかりました。

「大学生防犯ボランティア交流会」に参加

静岡県警察



8月に静岡県警察本部主催「大学生防犯ボランティア交流会」が開催され、本学の学生12名が参加しました。地域貢献センター長の木村佐枝子教授が講師を務め、グループワークによる交流会が行われました。木村ゼミが犯罪抑止を目的に作成した「特殊詐欺撃退すごろく」をグループに分かれて体験し、ゲームをしながら特殊詐欺犯罪の発生状況について学びを深めました。また「特殊詐欺を防ぐために大学生は何かできるか」「大学生や未成年がUD(受け子出し子)の闇バイトに手を染めないために、大学生として何が出来るか」という2つのテーマについて各グループにて話し合いが行われ、活発な意見交換が行われました。この交流会参加者を中心に大学生防犯ボランティアの輪が広がり、地域の安全安心のために今後益々の活躍が期待されます。

地域活動

地域住民の健康増進のため「健康・スポーツフェス2022」を開催

浜松ポッチャ倶楽部 COOL

浜松キャンパスでは、11月5日、11月6日、11月27日、浜松市北区わくわく元気プロジェクトの一環で、地域貢献センターが主催し「健康・スポーツフェス2022」を開催しました。昨年度に引き続き、本年度もコロナウイルス感染症予防のため、事前申し込み制として実施しました。

各学科や部活動での学びを多くの市民に提供し、交流することを目的として、地域の子どもから高齢者まで幅広い年代の方々に参加していただきました。

当日は健康栄養学科、健康鍼灸学科、健康柔道整復学科、理学療法学科、作業療法学科の学生や教員による測定と相談コーナー、心身マネジメント学科の学生による親子で運動遊びやふじ33プログラム、クラブやサークルの学生による陸上競技やサッカー、バスケットボール教室、パラスポーツを体験できるコーナーを開設しました。小学生や親子連れ、地域の高齢者や障がいのある方など、339名に参加していただき、学生スタッフ190名が運営に携わりました。



親子で運動遊びでは、コロナ禍で運動不足が問題視される中、家庭内で楽しく行えるスポーツや運動等を学生が紹介しました。子ども達は学生にアドバイスをもらいながら、お父さんやお母さんと楽しく運動していました。

参加者からのアンケートでは「大学生の皆さんが子どもと一緒に身体をたくさん動かして楽しく遊んでくれ、子どもがすくすく生き生きとしていました」「学生の方々がフレンドリーに話してくれて、たくさんアドバイスを受けることができました」とのお言葉をいただきました。学生たちにとっても貴重な体験となり、地域の子

どもたちに教えることで学生自身の知識や理解を深めることにつながるよい実践の場となりました。

今後も地域の方の健康づくりと運動機会の提供に貢献していきたいと思います。



地産地消を目的として都田朝市を開催

地元の生産者・販売者



11月5日・6日に浜松キャンパスで3年ぶりに都田朝市を開催しました。このイベントは、浜松市および周辺地域における様々な農産物や加工品を展示・販売することによって地産地消を推進し、都田地区から全域へ地域力をアピールすることを目的として行っております。今年度は、計12団体の方に出品していただき、都田地区の特産品であるみかんや柿、出来立ての炭火焼き鳥や五平餅、アユの塩焼き、すいとん、就労支援で作成を行ったハンドメイド商品等、幅広い内容で販売を行いました。

当日は、多くの方にご来場いただき、学生、教職員をはじめ、地域住民の皆様で賑わいました。学生と地域の方がやり取りする場面も多くみられ、世代を超えて交流を深めることができました。

社会スキルをゲーム感覚で学ぶ「大学生活すごろく」を制作

㈱杏林堂、江崎新聞店、浜名梱包輸送 他



経営学部鈴木ゼミの学生は、新卒者の早期離職につながる、企業と学生のミスマッチ解消を目的とした「大学生活すごろく」を制作しました。これは就職で求められるスキルを遊びながら学べるもので、学生は地元企業の採用担当者に取材を重ね、企業の学生に対する期待を盛り込む内容としました。すごろくは近隣高校などに配布され、キャリア教育への活用が期待されます。

地域活動

「さわやかウォーキング」企画運営に参加

JR東海



JR東海主催「食・芸術・自然を巡る秋のトコトコウォーキングin草薙・瀬名」の企画・運営に学生9名が参画しました。イベント当日は、地域の内外から約540人が訪れ、学生からは、「草薙・瀬名の魅力を感じてもらえるよう、地域の歴史や見どころなどの情報を皆で出しました」「参加者から温かい感謝の言葉も頂き、励みになりました」などの感想が聞かれました。

「第1回三保海浜マラソン」実行委員長として活躍

清水三保海浜公園



清水区の三保海浜公園周辺の景観は、視界を遮る人工物がなく、清水港や駿河湾の様子を一望することができます。社会環境学部宮城嶋開人さんは、この場所に魅力を感じ、愛着を持ってもらいたいと考え、清水灯台前海岸でマラソン大会と、清水三保海浜公園内松林の保全活動を行いました。当日は約400人の来場者が訪れ、三保に魅力を感じてもらうことができました。

静岡浅間神社 大絵馬を制作・奉納

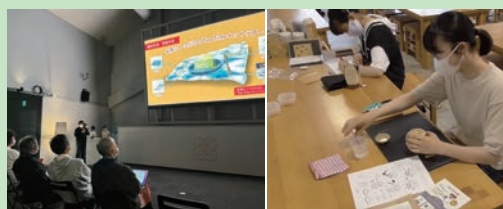
静岡浅間神社



造形学部合津ゼミでは、高さ3m、幅2.5mの大絵馬を制作し、静岡市葵区の静岡浅間神社に奉納しました。令和5年の干支「卯」をもとにデザイン・制作した大絵馬は、年末年始にかけて神社に設置されました。

駿府匠宿でイベント・ 商品開発を企画提案

駿府匠宿



造形学部山本・磯崎ゼミは、駿府匠宿でのイベントや商品開発について企画を検討し、12月に匠宿のホールで企画発表会を行いました。当日は、匠宿のマネージャーや工房長、スタッフの皆さんなどに聞いていただき、様々なアドバイスをいただきました。

静岡駅地下で ライブペインティングを実施

消費者トラブル防止活動に参加

「太鼓フェス」運営に参加

麻機太鼓保存会

教育学部の学生10名は、静岡駅地下「シズちか」にて絵画作品の公開制作を行いました。

県が任命する「消費者トラブル防止クリエイター」として、法学部学生が啓発活動に取り組みました。



あさはた緑地センターで開催された「太鼓フェスinあさはた」に、本学の学生2名が運営ボランティアとして参加し、店舗の設営や販売補助等を通じて、イベントに訪れた地域の方々との交流を楽しみました。



地域活動

「オープンデータアイデアソン」 最優秀賞を受賞

静岡県



オープンデータを活用して地域課題の解決を図る、静岡県主催「オープンデータアイデアソン」に、造形学部と経営学部の学生19名が参加しました。最後に行われた成果発表では、チームWing（造形学部の大橋芽生さん、櫻井美吹さん、左座彩香さん、経営学部の大木悠輝さん、専門学校生1名）が最優秀（静岡県知事）賞を受賞しました。

「JAFドライブスタンプラリーコンテスト2022」 優秀賞を受賞

(一社)日本自動車連盟



浜松フルーツパーク
地域活性化のための県内観光スポットの発信をテーマに開催された「JAFドライブスタンプラリーコンテスト2022」において、外国語学部の増田滯さんと吉田星里さんが発表を行い、優秀賞を受賞しました。

地域活性化のための県内観光スポットの発信をテーマに開催された「JAFドライブスタンプラリーコンテスト2022」において、外国語学部の増田滯さんと吉田星里さんが発表を行い、優秀賞を受賞しました。

「ふじのくに未来デザイン2022」 優秀賞を受賞

静岡県

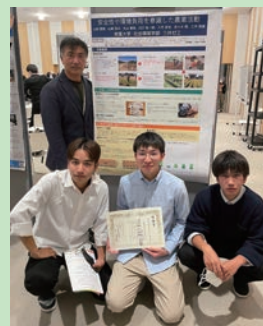


深津凜さん、松井文一郎さんの4名が提案した「PARallel空き家を利用したAR防災訓練ワークショップ」が優秀賞を受賞しました。

静岡県主催のデザインコンペ『ふじのくに未来デザイン2022』のコミュニケーションデザイン部門において、造形学部の鈴木愛佳さん、村松奨生さん、

「2022 FHIXフォーラム」 優秀賞を受賞

富士・箱根・伊豆 国際学会



社会環境学部 三井ゼミは、富士・箱根・伊豆 国際学会による「2022 FHIXフォーラム」において、「安全性と環境負荷を意識した農業活動」という演題でポスター発表を行い、優秀賞を受賞しました。審査委員からは、「研究のオリジナリティーが評価され、今後この活動がより大きなものになってくれると嬉しい」との応援コメントを頂きました。

国立中央青少年自然の家 法人ボランティア表彰を受彰

国立中央青少年自然の家



4名が表彰を受けました。4名は国立中央青少年交流の家が主催するイベントのボランティアに継続的に参加し、運営の中心として活躍した姿が評価され、この度の受賞に至りました。

草薙キャンパスにおいて『令和4年度国立青少年教育振興機構法人ボランティア表彰授与式』が執り行われ、教育学部の黒田美里さん、杉山珠璃さん、法月沙恵さん、山下俊哉さんの

「JFNラジオCMコンテスト」 ブロック賞を受賞



短期大学部日本語日本文学科の楠岡侑子さん、櫻田愛香さん、塚本こゆきさんが「JFNラジオCMコンテスト2022～ラジオに乗せて、学校アピール～」でブロック賞を受賞しました。受賞作品40秒CM「ご来場」篇は、K-mix他、近県4県のラジオ局でオンエアされました。

「第13回SCCしずおかコピー大賞」 入賞



短期大学部日本語日本文学科の池田純南さんは「第13回SCCしずおかコピー大賞」で協賛賞に選ばれました。

「みんなのSDGs宣言発表会」で 成果発表



活動内容を紹介するパネルも展示し、買い物に訪れた一般の方々へ取組をアピールしました。

富士SDGs
実践パートナー
officePturn

イオンタウン富士南で開催された、富士SDGs実践パートナー officePturn主催の「第2回みんなのSDGs宣言発表会」において、社会環境学部黒田・三井ゼミが参加し、それぞれゼミ活動の成果を発表しました。また、活動内容を紹介するパネルも展示し、買い物に訪れた一般の方々へ取組をアピールしました。

「UX ROCKET」で 研究発表

UXデザインを学ぶ学生対象のイベント「UX ROCKET」に造形学部安武ゼミが参加し、研究発表を行いました。



障がい・福祉

「デフ・IDキッズフェスティバル」でボランティア

NPO法人
静岡FIDサッカー連盟



障害を持つ子どもたちにスポーツを身近に感じてもらうことを目的として、NPO法人静岡FIDサッカー連盟が開催した「デフ・IDキッズフェスティバル」に、学生20名が運営ボランティアとして参加しました。

『This is my color ~色祭~』開催

放課後デイサービス
ばれっと



保育学部赤塚ゼミの学生らが、障がいのある子の自己表現のためのファッションショー『This is my color~色祭~』を企画し、開催しました。子どもたちの堂々とした姿に来場者からは感動の声が寄せられ、学生は活動の意義を噛みしめました。

高齢者施設の インターンシップについて行政に提案

静岡県健康福祉部



静岡県健康福祉部が主催する、高齢者施設の魅力的なインターンシップを考える企画に、教育学部と社会環境学部の学生5名が参加しました。学生はまず実際に高齢者施設でのインターンシップに参加し、その体験をもとにより良いインターンシッププログラムを検討・作成して、静岡県健康福祉部長へ提案しました。

静岡県健康福祉部が主催する、高齢者施設の魅力的なインターンシップを考える企画に、教育学部と社会環境学部の学生5名が参加しました。学生はまず実際に高齢者施設でのインターンシップに参加し、その体験をもとにより良いインターンシッププログラムを検討・作成して、静岡県健康福祉部長へ提案しました。

学内で赤い羽根共同募金運動

浜松市社会福祉
協議会北地区センター



浜松キャンパスの学生3名が集まり、赤い羽根共同募金運動に合わせて、浜松キャンパスの食堂にて呼びかけを行いました。企画した健康プロデュース学部の名倉芽依さんは「自分が思っていたよりも、募金に対して協力的な人が多く心が温まりました」と話しました。集まった募金は、浜松市社会福祉協議会北地区センターに寄付しました。

浜松キャンパスの学生3名が集まり、赤い羽根共同募金運動に合わせて、浜松キャンパスの食堂にて呼びかけを行いました。企画した健康プロデュース学部の名倉芽依さんは「自分が思っていたよりも、募金に対して協力的な人が多く心が温まりました」と話しました。集まった募金は、浜松市社会福祉協議会北地区センターに寄付しました。

地域貢献活動実施件数報告

令和4年度の地域貢献活動実施件数は以下のとおりです。

令和4年度 ＜年間集計＞	大学主催		学生企画		外部依頼			合計	
	活動件数	活動人数	活動件数	活動人数	募集件数	活動件数	活動人数	活動件数	活動人数
子育て・教育	17	405	39	212	105	79	275	135	892
障がい・健康福祉	0	0	10	66	30	13	39	23	105
一般スポーツ	0	0	3	8	53	29	260	32	268
防災・防犯	0	0	16	57	34	68	259	84	316
地域活動	7	135	16	329	170	122	582	145	1046
合計	24	540	84	672	392	311	1415	419	2627

学外の助成事業を活用した連携事業

しずおか中部連携中枢都市圏地域課題解決事業

しずおか中部連携中枢都市圏と地域大学との連携拡大の促進や、大学の研究成果を地域の発展に活かすことを目的とし、地域課題の解決に向けた方策の提言・実践的な研究を各市町と一体となって実施する事業です。

(静岡市・島田市・焼津市・藤枝市・牧之原市・吉田町・川根本町)

No.	研究テーマ名	代表者
1	「健康長寿のまち」普及啓発向上に向けた分かりやすい広報戦略（静岡市）	造形学部 造形学科 教授 安武 伸朗
2	人口減少が続く中山間地の移住者増加策の検討（静岡市）	経営学部 経営学科 准教授 山田 雅敏 助教 酒井 春花
3	静岡市版介護予防プログラムの効果検証について（静岡市）	健康科学部 静岡理学療法学科 教授 磯崎 弘司 講師 中野 聡子
4	新たな働き方に対応した移住促進施策（静岡市）	経営学部 経営学科 教授 小豆川裕子
5	田代地区を環境教育の場とすることに向けた取組（島田市）	健康プロデュース学部 こども健康学科 准教授 中村 俊哉

藤枝市地域政策研究・創造事業

藤枝市と本学との包括連携に関する協定の一環として、藤枝市の地域課題の解決に向けた学生参加による方策の提言、実践的な研究に対して助成される大学連携研究事業です。

No.	研究テーマ名	代表者
1	Sharing Local Sustainable Culture and Practice in Fujieda	外国語学部 英米語学科 准教授 ビーター・ハーディケン
2	岡部宿に因んだ学生のアート作品を用いた藤枝市民文化祭の広報とにぎわい支援	造形学部 造形学科 教授 田宮 話子

ふじのくに地域・大学コンソーシアム「ゼミ学生地域貢献推進事業」

大学・大学生と地域の交流の拡大を促進し、大学の研究成果を地域の発展につなげることを目的に、地域課題の解決に向けた方策の提言・実践的な研究を各市町や地元企業と一体となって実施する事業です。

No.	研究テーマ名	代表者
1	保幼小連携の基盤づくりプロジェクト（三島市）	保育学部 保育学科 教授 山本 睦
2	テレワークを活用した魅力あるワーケーションプログラムの作成（富士市）	経営学部 経営学科 教授 小豆川裕子
3	GIS を活用した静岡市の生物多様性保全の基礎調査（静岡市）	社会環境学部 社会環境学科 教授 浅見 佳世
4	日本人にも外国人にも住みやすいまちの魅力について ーシビックプライドに着目した多文化共生のまちづくりに関する調査ー（菊川市）	大学院 初等教育高度実践研究科 教授 星野 洋美
5	生物多様性保全に関する調査・研究（御殿場市）	社会環境学部 社会環境学科 教授 小杉山晃一

地方自治体等との連携講座

自治体や地域の生涯学習施設等と連携し、講義を実施しています。地域特性や受講生のニーズに合わせ、本学の知的資源を活かす内容を提供しています。令和4年度に実施した講座の一例を紹介します。

講座名	所属	講師
静岡市生涯学習センターと常葉大学との共催講座 <ul style="list-style-type: none"> 「コロナ禍にある静岡経済の『今』を読み解く」(全3回) 「英語の絵本を読み解き、海外の文化について触れる ーピーターラビットの世界ー」(全4回) 「認知症にならないために」(全3回) 「『平家物語』における梶原氏」(全3回) 「芸術と時代」(全2回) 	経営学部 経営学科 外国語学部 英米語学科 健康科学部 静岡理学療法学科 教育学部 初等教育課程 教育学部 生涯学習学科	准教授 弘田 祐介 准教授 土村 宜明 准教授 林 信濃 准教授 新妻 明子 准教授 中野 渉 特任教授 大川 信子 教授 堀切 正人
静岡市生涯学習センター / 交流館での出前講座 <ul style="list-style-type: none"> 「姿勢と勉強の関係について」(藁科) 「家庭で伸ばす国語力」(藁科) 「高齢者学級みのり大学」海外の公共図書館から『公共』の意味を学ぶ(藁科) 「わたしのまちのお宝さがし」(藁科) 「わたしのまちの防災講座」(藁科) 「免疫力UPの運動実践と講義」(駒越) 「藁科地域をハザードマップから考える」(駒越) 「清水の歴史的な景観と建築」(駒越) 「震災事例における判例データからみた企業の危機管理の留意点」(静岡商工会議所) 「企業テレワークの新たな展開 ～With コロナ時代の働き方改革、地方創生テレワークを考える～」(静岡商工会議所) 「家庭で育む国語力」(蒲原) 「かんばら寿大学」(蒲原) 「楽しく健康」(高部) 「カルタでめぐる大里探訪 夏・冬」(大里) 「大里かるた大会」(大里) 「大里心の乙女塾」日本文学講座(大里) 「高齢者学級みのり大学」地域歴史講座(大里) 「高齢者学級みのり大学」歴史文学講座(大里) 「高齢者学級みのり大学」睡眠から考える健康～快眠で明日も元気に(葵) 「高齢者学級みのり大学」睡眠と健康(葵・駿河) 「西奈地域の歴史資料づくり」(西奈) 「声と話し方スキルアップ講座」(西奈) 「平家物語」(西部) 「チャレンジ！静岡の雲で天気予報！」(西部) 「高齢者学級みのり大学」悪疫退散！長田のパワースポット(長田) 「高齢者学級みのり大学」古典文学講座『平家物語』(長田) 「思春期の問題行動と親の対応について」(東部) 「高齢者学級みのり大学」平家物語ー祇園精舎を中心に(東部) 「楽しく学ぶ『百人一首』」(南部) 「高齢者学級みのり大学」初めての平家物語(南部・美和) 「シスターってなに？」(北部) 「高齢者学級みのり大学」異文化理解講座(北部) 「高齢者学級みのり大学」睡眠から考える健康講座(北部) 「高齢者学級みのり大学」郷土史講座(北部) 「学んで役立つマナー講座」(庵原) 「読み聞かせの魅力、再発見！」(有度) 	健康科学部 静岡理学療法学科 保育学部 保育学科 教育学部 生涯学習学科 大学院 初等教育高度実践研究科 社会環境学部 社会環境学科 保育学部 保育学科 社会環境学部 社会環境学科 造形学部 造形学科 社会環境学部 社会環境学科 経営学部 経営学科 保育学部 保育学科 健康科学部 看護学科 保育学部 保育学科 大学院 初等教育高度実践研究科 大学院 初等教育高度実践研究科 教育学部 初等教育課程 大学院 初等教育高度実践研究科 教育学部 初等教育課程 健康科学部 静岡理学療法学科 健康科学部 静岡理学療法学科 大学院 初等教育高度実践研究科 短期大学部 日本語日文学科 教育学部 初等教育課程 教育学部 初等教育課程 大学院 初等教育高度実践研究科 教育学部 初等教育課程 教育学部 心理教育学科 教育学部 初等教育課程 教育学部 初等教育課程 教育学部 初等教育課程 外国語学部 英米語学科 外国語学部 英米語学科 健康科学部 静岡理学療法学科 大学院 初等教育高度実践研究科 短期大学部 日本語日文学科 短期大学部 日本語日文学科	准教授 栗田 泰成 准教授 増田 泉 准教授 那珂 元 教授 安藤 雅之 教授 阿部 郁男 准教授 今村 貴幸 教授 阿部 郁男 講師 伊達 剛 教授 池田 浩敬 教授 小豆川裕子 准教授 増田 泉 教授 長澤久美子 准教授 今村 貴幸 教授 安藤 雅之 教授 安藤 雅之 特任教授 大川 信子 教授 安藤 雅之 特任教授 大川 信子 教授 青田 安史 教授 青田 安史 教授 安藤 雅之 准教授 宮本 淳子 特任教授 大川 信子 准教授 山根 悠介 教授 安藤 雅之 特任教授 大川 信子 准教授 太田 正義 特任教授 大川 信子 特任教授 大川 信子 特任教授 大川 信子 助教 那須野絢子 助教 那須野絢子 教授 青田 安史 教授 安藤 雅之 准教授 宮本 淳子 准教授 宮本 淳子

<ul style="list-style-type: none"> ・「将来につながる子育て講座」(有度) ・『『曾我物語』における伊藤氏と北条氏一父の判断を読み取る一』(有度) ・「防災講座でまちづくり」(小島) ・「平清盛の盛者ぶりを読む」(清水) ・「地震・津波の専門家に学ぶ袖師地区の防災」(袖師) ・「高齢者教室」大人だからこそわかる絵本の奥深さや楽しさを体感する(由比) ・「桜華大学」フレイルの予防(船越) ・「おもと大学」平家物語(不二見) 	教育学部 心理教育学科 教育学部 初等教育課程 社会環境学部 社会環境学科 教育学部 初等教育課程 社会環境学部 社会環境学科 短期大学部 日本語日本文学科 健康科学部 静岡理学療法学科 教育学部 初等教育課程	教授 伊東 明子 特任教授 大川 信子 教授 阿部 郁男 特任教授 大川 信子 教授 阿部 郁男 准教授 宮本 淳子 准教授 中村 浩一 特任教授 大川 信子
静岡市大学リレー講座 (全6回の講義を静岡市内6大学が連携して実施) <ul style="list-style-type: none"> ・「SDGs × ウィズコロナ～ウィズコロナ時代の持続可能な社会を考える～」 With コロナ時代のテレワーク：働き方・生き方改革から社会改革へ 	経営学部 経営学科	教授 小豆川裕子
浜松市と大学との連携事業 大学生による講座 <ul style="list-style-type: none"> ・「あつまれ音楽の森」 ・「めざせアスリート - 走る、跳ぶ、勝つための筋肉の動き -」計4回 ・「親子で Let's dancing !!」計2回 ・「あなたのお金を守る！ 特殊詐欺撃退すごろく」計2回 ・「チャレンジ・バレーボール」計2回 ・「自分でできるセルフケア」計4回 ・「Walking を Thinking」計2回 ・「ポッチャを楽しみながら学ぶ」計3回 ・『『スヌーズレン』ひかる紙芝居・絵本をたのしもう』計2回 	健康プロデュース学部 とも健康学科 健康プロデュース学部 心身マネジメント学科 健康プロデュース学部 心身マネジメント学科 健康プロデュース学部 心身マネジメント学科 健康プロデュース学部 心身マネジメント学科 健康プロデュース学部 健康鍼灸学科 保健医療学部 理学療法学科 保健医療学部 保健医療学部 作業療法学科	平松なをみゼミ 井口 睦仁ゼミ 井口 睦仁ゼミ 木村佐枝子ゼミ 村本 名史ゼミ SinQ 松村 剛志ゼミ 障☆スポ SC 遠藤 浩之ゼミ
浜松市民アカデミー (全9回の講義を静岡県西部8大学が連携して実施) <ul style="list-style-type: none"> ・「人間と世界：平和の哲学」 	経営学部 経営学科	教授 砂子 岳彦
サーラ音楽ホール(浜松市市民音楽ホール)との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・「幼児・児童英語：英語で楽しく歌って遊びましょう！」 ・「健幸アンバサダー養成講座」 ・「認知症予防講座」 ・「ポッチャ体験会」 	健康プロデュース学部 とも健康学科 健康プロデュース学部 心身マネジメント学科 健康プロデュース学部 心身マネジメント学科 保健医療学部	講師 福田 鈴子 講師 井口 睦仁 講師 井口 睦仁 障☆スポ SC
浜北商工会議所との連携事業 大学の経営講座を受けよう！ <ul style="list-style-type: none"> ・「Web を活用したビジネスモデル」 ・「SNS を活用したビジネスモデル」 ・「DX を活用したビジネスモデル」 ・「若手社員が感じる職場とのミスマッチ」 ・「多様化した組織で問題解決するためのコミュニケーション」 	経営学部 経営学科	講師 長崎 洋康 講師 長崎 洋康 講師 長崎 洋康 講師 鈴木 章浩 教授 中津川智美
富士市民大学前期ミニカレッジ <ul style="list-style-type: none"> ・「天災を理解し、身を守る～予測不可能な災いに備えて～」 地震・津波のメカニズムと被害 活断層と災害リスク 災害時の心理と行動 	社会環境学部 社会環境学科	教授 阿部 郁男 講師 今野明咲香 教授 河本 尋子
吉田町シニアカレッジ <ul style="list-style-type: none"> ・「人間理解とコミュニケーション心理学 他社を知る・自分を知る」 ・「フレイルにならないために」 ・「フレイル予防 実践編」 	教育学部心理教育学科 健康科学部静岡理学療法学科 健康科学部静岡理学療法学科	教授 伊東 明子 講師 中野 聡子 講師 中野 聡子



学生団体紹介（静岡キャンパス）

■防犯サークル JUSTICE

【団体紹介】

地域防犯活動の担い手として、水落キャンパス周辺の児童の下校見守り活動や、静岡県警察や防犯協会等、地域からの依頼を受け活動しています。

【令和4年度の活動】

- ・しずおかランニングパトロール
- ・警察や防犯協会等、地域からの活動依頼
- ・ホンデリングの回収
(犯罪被害に遭われた方の救済を充実させるための活動です。)



■ Supporting Para-Sports

【団体紹介】

障がい者スポーツ支援サークル「Supporting Para-Sports」は、静岡県内の障がい者スポーツ大会を中心に、ボランティア活動を通して大会運営支援活動を行っております。本サークルはスポーツを通して、障がい児（者）の社会参加を支えるとともに、障がい児（者）と健常児（者）が交流を図る機会を支援していくことで、相互理解を深め、共生の歩みを実現していくことを目的としています。

【令和4年度の活動】

- ・第23回 静岡県障がい者スポーツ大会 陸上競技大会
- ・第23回 静岡県障がい者スポーツ大会 ボッチャ競技大会
- ・第23回 静岡県障がい者スポーツ大会 フライングディスク競技大会



■水落ボランティアサークル「HOPE」

【団体紹介】

ボランティアサークル HOPE は、多種多様なボランティア活動を行うサークルです。令和4年に新設し、試行錯誤しながら様々なボランティア活動を行っており、活動を通じた自分自身の成長を目的としています。今後はサークルの規模を更に大きくし、より多くのボランティア活動を行いたいと考えています。

【令和4年度の活動】

- ・静岡県警察サイバー防犯ボランティア
- ・大浜ビーチフェスタ 2022 浜ゆき 運営ボランティア
- ・プロ野球運営補助ボランティア
- ・デフ・キッズ ID フェスティバル 運営ボランティア
- ・消費者被害防止月間街頭キャンペーンボランティア …等



■ チーム LLL

【団体紹介】

チーム LLL は「生涯学習を通し、常葉大学の学生が『活躍できる場所と挑戦できる環境』を共に作る」を目標に活動しています。チームの約束は「やりたかったはなし。やりたいこと全部やろう。」です。(LLL とは、生涯学習 (= Lifelong Learning) のことです。) 大学内では、学生同士の自浄作用を目的とした事業を企画しています。

また、他大学や地元企業・静岡市のご支援を賜り、生涯学習事業の企画や、地域貢献事業に参加し、様々な事業に挑戦してきました。



【令和 4 年度の活動内容】

- ・ 新入生相談会
- ・ 社会教育実習相談会
- ・ 相談カフェ
- ・ 可能性は無限大！共に考える草薙未来カフェ
- ・ インターンで勝ち抜くグルディス会～ for 生涯学習専攻～
- ・ デフ・キッズ ID フェスティバル 運営ボランティア … 等

■ 社会貢献サークル milk

【団体紹介】

社会貢献サークル milk は、ボランティアを通して社会に貢献し、社会に存在する様々な課題の発見・改善に尽力することで、社会性と連帯性を培うことを目的として活動しています。

【令和 4 年度の活動】

- ・ 三保松原の清掃ボランティア
(三保松原 3Rings プロジェクト主催)
- ・ 地域のボランティア … 等



■ 学生スタッフ Link



【団体紹介】

地域貢献やボランティア活動に興味を持つ学生有志の集まりです。静岡キャンパスを中心として活動に興味のある学生を募り、チームとして地域の活動に参加しています。サークルやゼミに所属してなくても、個人の都合に合わせて活動することができます。また、学生自身で考えたボランティアの企画・運営・情報発信も行っています。

【令和 4 年度の活動】

- ・ JR 東海主催「さわやかウォーキングの企画・運営ボランティア」
- ・ 静岡市大河ドラマ「どうする家康」活用推進協議会主催
「まちあるきマップ・音声ガイドの制作、観光まちあるきガイド」



学生団体紹介（浜松キャンパス）



■地域貢献サークル Cocoa

【団体紹介】

経営学部の学生が運営する本団体は、「経営学部での学びを活かし、地域活性化の一助となること」を目的として活動を行っています。

【令和4年度の活動】

- ・「イイじゃん！おくはまなこ」の企画運営
- ・浜松市民ロゲイニング大会の運営補助 …等



■食プロデュース

【団体紹介】

健康栄養学科の学生が運営する本団体は、学内外での栄養情報の提供などを行い、様々な人の健康をサポートしつつ学生自身の知識や技術を深めるという理念の下、活動を行っています。

【令和4年度の活動】

- ・キッズオープンキャンパス（いなさ牛乳を使ったパン&スコーン作り）
- ・健康・スポーツフェス（簡易ヘモグロビン測定等）
- ・フリーペーパー「Jr.Athlete」「JUMP」遠鉄レシピ解説、栄養コラムを提供 …等



■Sun&Leaf

【団体紹介】

地元団体と連携しながら地域の魅力についての動画を学生自ら企画・取材・制作し、YouTubeの専用チャンネルで配信しています。

【令和4年度の活動】

- ・あぐり探検隊によるさつまいもの収穫
- ・赤ちゃんフォトコンテスト
- ・園児を対象としたミニクリスマス会



■木村ゼミ

【団体紹介】

社会貢献・ボランティア教育をテーマに活動を行っています。学生が主体となり常に地域と連携し、地域の課題解決に向けて一人一人が責任を持ってチャレンジしています。

【令和4年度の活動】

- ・まもろーる
- ・ランニングパトロール
- ・萩っ子セーフティーキッズプロジェクト
- ・防災SDGs
- ・中田島砂丘ビーチコーミング …等



■ふれぐろラボ

【団体紹介】

「あらゆる子どもたちに運動（遊びやスポーツも含む）を通じた心身の成長機会を提供したい」という考えの元、様々な活動を行っています。浜松ウェルネスアワード2年連続受賞し、令和5年は大賞を受賞しました。

【令和4年度の活動】

- ・とこはオリピック
- ・こども園サッカー教室
- ・健幸かるた出前授業
- ・みんなのKids training …等





■ SinQ

【団体紹介】

健康鍼灸学科の学生が鍼灸や東洋医学の知識や技術を通して様々な地域貢献活動を行っています。

【令和4年度の活動】

- ・浜松市との連携事業 学生による講座（水窪・笠井・北浜各協働センター）
- ・マラソン大会での施術



■ 障害者スポーツサポートクラブ（障☆スポ SC）

【団体紹介】

障がい者スポーツ大会運営補助や障がい者スポーツの普及・啓蒙活動などを行っています。啓蒙活動では小学校低学年から高齢者までの幅広い年齢層に対して活動を行っています。

【令和4年度の活動】

- ・ボッチャ体験会
（下阿多胡ふれあいセンター・県居協働センター・北部協働センター等）



■ ThunderBirds

【団体紹介】

常葉大学浜松キャンパスの全学部の学生が集う。国際救助隊 ThunderBirds に由来し、緊急時の災害支援活動や防犯、スポーツ、子ども、地域活動など、地域のニーズに応じて幅広く活動を行っています。

【令和4年度の活動】

- ・台風19号支援活動（福島県いわき市）
- ・我が街はままつ交流フェスタ …等



■ 陸上競技部

【団体紹介】

チームや個人の記録・目標を成し遂げるだけでなく、学業や自らの人生に対して本気で取り組み、いつ社会に出てもよいように、様々なことを学びながら日々練習に取り組んでいます。

【令和4年度の活動】

- ・静岡県陸上連盟陸上競技大会での審判、補助スタッフ
- ・小中学生向けの陸上教室
- ・健康スポーツフェスでの陸上指導
- ・その他陸上連盟主催の大会補助



■ 常葉大学浜松キャンパスBBS会

【団体紹介】

BBS会とは Big Brother and Sister Movement の略であり、非行や社会不適応の青少年少女を支援し犯罪のない明るい社会の実現を目的とするボランティアサークルです。

【令和4年度の活動】

- ・社会を明るくする運動作文編集

発行 令和5年5月

常葉大学 地域貢献センター

※記載されている教員の職位は
令和5年3月時点のものです



常葉大学
常葉大学短期大学部

公式ホームページ

<https://www.tokoha-u.ac.jp/>



[草薙地域貢献課]

〒422-8581 静岡市駿河区弥生町 6-1
TEL : 054-297-6142

[水落地域貢献課]

〒420-0831 静岡市葵区水落町 1-30
TEL : 054-297-3200

[浜松地域貢献課]

〒431-2102 浜松市北区都田町 1230
TEL : 053-428-6748